

神田外語大学大学院紀要 『言語科学研究』創刊によせて

神田外語大学 学長 井上 和子

本学では、平成4年度から大学院博士前期課程が設置され、平成6年度から後期課程も発足しました。これで、学部の4年と大学院の5年の全教育課程が整備され、その内容の一層の充実に向かって努力しているところです。この時期に大学院の紀要が創刊されることを嬉しく思います。

本学の初代学長の小川芳男先生は『神田外語大学紀要』第1号（1989）の巻頭に次のように述べておられます。「紀要は大学の顔であり、社会への主張である。大学の評価はいろいろあろうが、（中略）大学評価の最も大きく且つ中心的なものは大学の紀要である。（中略）大学院設置の暁には更に立派な紀要ができることを期待している。」このように、大学院の紀要の創刊は、初代学長の期待にも沿うものです。

本学大学院は「言語科学研究科」という名称のとおり、言語の普遍性を追求する科学的研究の一環として、個別言語の研究とその教育に関する研究を深めることを目標にしています。前期課程には英語学と日本語学の専攻課程があり、それぞれ言語研究または言語教育の専門家の養成を図っています。後期課程は種々の個別言語研究を基礎にした本格的な言語の科学的研究者を育成することを目指すものです。そのために他にはみられない独自の研究教育態勢を備えているつもりです。このような環境の中で新しい時代の要請に応える独創的な研究者、教育者が育っていくことを期待しています。大学院の紀要も、本大学院の趣旨に沿って、若手研究者による創意のあふれた研究活動を促し、すぐれた研究発表の場として成長していくことを願っている次第です。